

講演会のお知らせ

『健康・長寿そしてヤーコンの働き』

主催:NPO 法人日本ヤーコン協会

共催:茨城大学農学部

後援:阿見町教育委員会

特別講演

『健康長寿には、正しい健康生活が必要である。
その真髓を知り、リバーサエイジングになろう』

- ① 癌の予防生活②老化予防生活③四つの健康ホルモンを増やす生活
生活習慣と生活環境を改善しミトコンドリアを助けよう！

演者:医療法人 健身会 理事長

総合臨床医 医学博士 周東 寛先生

『腸を作用起点とした食品機能性に関する研究』

演者:石川県立大学 生物資源環境学部 食品科学科

食品生化学研究室 准教授 博士(応用生命科学)

東村 泰希先生

『アンデス原産野菜ヤーコンの歴史・科学と産業的展望』

演者:国際ポテトセンター(CIP,ペルー・リマ)

ヤーコン部門主席研究員

Ph.D. Ivan Manrique 先生

(AI による同時和訳あり)

日時:令和8年3月7日(土) 午後1時30分より

場所:茨城大学農学部フードイノベーション棟2階

〒300-0393 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1(駐車場あり)

連絡先:NPO 法人 日本ヤーコン協会 (<http://ya-con.jp>)

☎ : 090-2906-9876 ✉ : npoyacon@gmail.com

来る3月7日(土)午後1時30分より、

茨城大学農学部(阿見町中央3-21-1・駐車場有)フードイノベーション棟2階 霞光ホールにおいて、NPO 法人日本ヤーコン協会主催、茨城大学農学部共催、阿見町教育委員会後援による講演会を開催いたします。参加費は無料です。

ヤーコンは、南米アンデス高地原産のキク科の根菜で、インカ時代からペルーを中心に食されてきました。日本には1980年代に導入され、茨城大学農学部を中心とした研究により、健康に重要な機能性物質が次々と明らかにされてきました。

とくにヤーコンの塊根部には、野菜の中でも最も多くのフラクトオリゴ糖が含まれていることから大きな注目を集めています。近年の研究では、このフラクトオリゴ糖が消化されずに大腸まで到達し、腸内細菌の栄養源となることで、現在注目されている酪酸やプロピオン酸などの短鎖脂肪酸の生成を促進し、免疫機能などを調節するメッセンジャー物質として働くことが分かってきました。さらに、ポリフェノールや水溶性食物繊維も豊富に含まれており、ヤーコン塊根部はまさに機能性物質の宝庫といえます。

一方、ヤーコン葉を原料とした「ヤーコン茶」には、食後血糖値を緩やかに低下させる効果が臨床的に確認されており、多くの愛飲者に支持されています。その作用機構は、ヤーコン茶に含まれる α -グルコシダーゼ活性の阻害によるもので、食前から飲用することが血糖値の上昇抑制に有効とされています。

今回の講演会では、特別講演として医療の第一線でご活躍されている周東 寛先生をお招きし、健康・長寿の極意について分かりやすくご講演いただきます。さらに、東村先生、Ivan 先生より、ヤーコンの機能性などに関する最新の知見をご紹介します。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。